

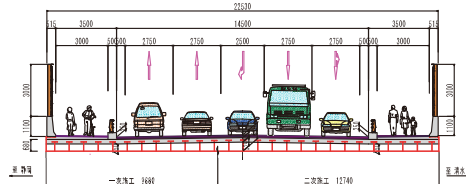
防災都市の実現に向け、災害に強く、安全に暮らせるまちづくりを推進するため、老朽化が進む社会資本施設を更新し、強靱な道路ネットワークを構築します。

橋梁の概要



〔形式〕単純中空合成床版橋 ※1 (耐候性鋼材使用) ※2 (完成イメージ)
 〔活荷重〕B活荷重 〔橋長〕28.0m(支間長:27.0m)
 〔幅員〕22.62m(車道2.75m×4+右折帯2.5m,歩道3.0m×2)

標準横断面図



計画のpoint

- 鉄道との離隔を確保するため、鋼とコンクリートを合成した構造で桁高を抑えることに特化した橋梁形式を採用(※1)
- 橋の外観は、良質な安定錆により塗替え塗装が不要でライフサイクルコストの低減が図れる耐候性鋼材を採用(※2)
- 南北に重要公共施設が存在するため半断面施工により(一)入江富士見線の通行を確保。
- 施工中の南幹線の通行を確保するため、小規模橋台形式を採用

整備効果

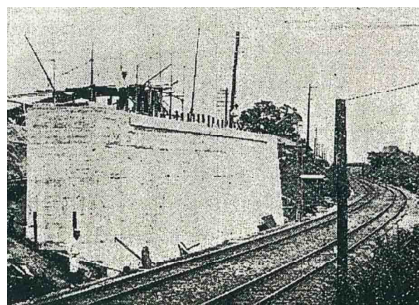
■ 耐久性能が向上

現在の桜橋は、昭和6年(1931年)に架橋され、約90年間供用されていることから経年劣化に伴う損傷や交通量の増加に伴う損傷が顕著になっています。新橋に架替えることにより、耐久性が向上し、維持管理にかかる費用も軽減されます。

■ 耐震性能が向上

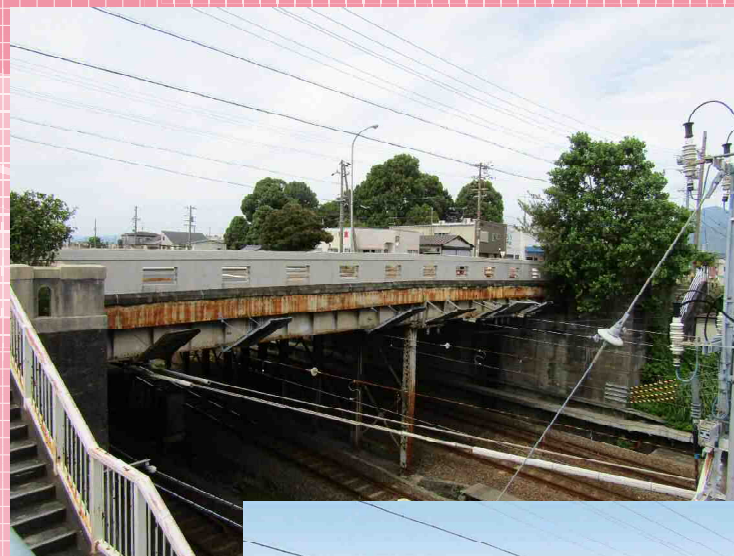
新橋は、東日本大震災後に改定された道路橋示方書を基準に計画しており、大規模地震による損傷が生じても小規模なものに留まることから、橋としての機能も速やかに回復できる性能を有しています。

本橋が位置する(一)入江富士見線は、緊急輸送路にも指定されており、大規模地震時の救急活動や物資輸送としての機能も確保されます。



▲ 昭和6年施工時の東海道本線と北側の橋台

(一)入江富士見線(桜橋) 橋梁架替工事



(完成イメージ)

連絡先

静岡市 建設局 道路部 清水道路整備課

〒428-8701 静岡県静岡市清水区旭町6-8 TEL:054-354-2147 FAX:054-351-6517

E-MAIL:shimizudoro@city.shizuoka.lg.jp http://www.city.shizuoka.jp/000_000526.html



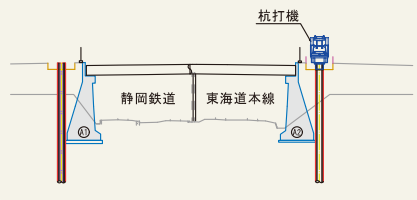
静岡市 建設局 道路部

施工順序

桜橋の架替工事は、大きく分けてSTEP1～STEP4の4段階で実施されます。

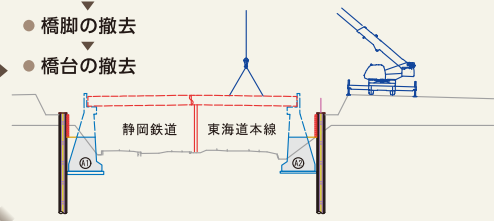
STEP1 基礎杭

● 基礎杭施工



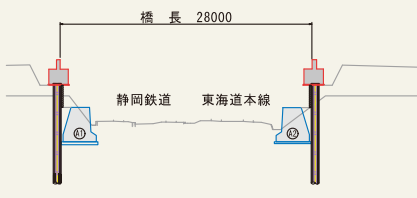
STEP2 既設橋撤去

- 上部工の撤去
- 橋脚の撤去
- 橋台の撤去



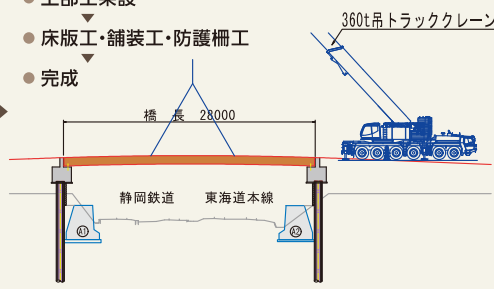
STEP3 下部工

● 下部工施工



STEP4 上部工

- 上部工架設
- 床版工・舗装工・防護柵工
- 完成



施工工程表

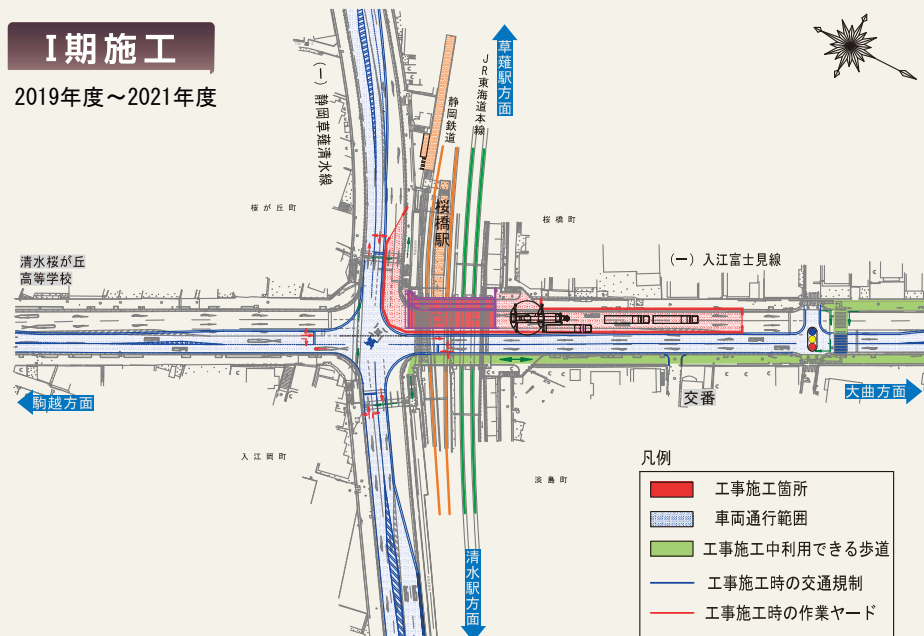
桜橋の架替工事は、半断面ずつ2期にわけて工事を行います。Ⅰ期(西側)は、2019～2021年度、Ⅱ期(東側)は、2021～2024年度になります。その後、舗装等の道路工事を2024年度に施工して完成する予定です。

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
道路工事		道路工・信号移設		道路工・舗装工・信号移設			道路工・舗装工・信号移設
桜橋 本体工事	Ⅰ期施工			Ⅱ期施工			
	電気・通信支障移転設計・施工			JR:基礎工			
	JR:基礎工			静鉄:基礎工			
	JR:静鉄:基礎工			JR:既設橋撤去			
	JR:既設橋撤去			JR:静鉄:下部工撤去			
	JR:静鉄:下部工撤去			JR:静鉄:下部工			
	JR:静鉄:下部工			JR:上部工架設			
	JR:上部工架設			JR:防護柵・伸縮装置他			
	JR:防護柵・伸縮装置他			電気・通信設備復旧			
	電気・通信設備復旧						

交通切回し図

Ⅰ期施工

2019年度～2021年度



Ⅱ期施工

2021年度～2024年度

